



病院機能評価認定病院

独立行政法人 労働者健康安全機構

神戸労災病院



神戸労災病院理念

良質で心のこもった医療を
働く人と地域のために

メディカルネットニュース

第46号（令和3年5月）

神戸労災病院 代表電話：078-231-5901

ホームページ： <https://www.kobeh.johas.go.jp>

地域医療推進室 直通電話：078-231-5925

ファックス：078-231-5926

院長就任挨拶

神戸労災病院 院長・心臓血管外科部長

脇田 昇



この度、神戸労災病院院長に就任いたしました。新型コロナウイルス感染症で厳しい状況ではありますが、職員と共に気持ちを新たに、これからの医療をしっかりと考え、地域の皆様方に役立つ病院作りを目指したいと考えております。本院は「良質で心のこもった医療を働く人と地域のために」の理念を掲げており、ここに本院における診療活動を紹介させていただきます。

1. 専門領域医療の実践を中心にしています

当院では、患者さんの希望に即した治療方法を提供するよう心がけております。内科系診療科と外科系診療科はチームを組み、(循環器疾患：循環器内科と心臓血管外科、消化器疾患：消化器内科と消化器外科)、一人一人の患者さんに最善の医療の提供を目指します。また、整形外科領域、透析を含めた総合内科領域が本院の診療の中心となっております。(詳細はHPをご覧ください。)

2. 高齢者医療への取り組みを強化します

近隣の医療機関や在宅医や介護施設との連携を密にして、高齢者医療の役割を果たしていきたいと考えております。受診や救急の受け入れ、人間ドックの紹介や健康寿命を伸ばすための講演も計画して参ります。

3. 救急医療の体制をしっかりと確保します

新型コロナウイルス感染症に対しては、発熱者外来を設置して、診察、検査を行って参りました。二次救急病院として、内科、循環器内科、整形外科、消化器外科の輪番を担っており、常に入院治療のできる体制を整えています。さらに、高齢者の準緊急的な入院にも積極的に対応して参ります。

4. 予防医療に積極的に取り組みます

健康寿命を伸ばし、介護予防に取り組むことは本院の重要な使命です。各種の検診に対応しており、人間ドックでは継続的な健康管理を目指しています。さらに西日本初のフレイル外来を開設しており、栄養指導や筋力増強に取り組んでいきます。

5. 勤労者医療を支えて参ります

治療と就労の両立が必要な高齢者が増加しています。労働者健康安全機構は、治療と就労の両立支援を全国的に展開しており、本院も両立支援を中心に、産業保健センターや産業医の活動を支援して参ります。

私たちは本院をより良い病院へと成長させていくために、これからも全力で取り組んで参ります。どうぞ皆様のご指導、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

副院長就任挨拶

神戸労災病院 副院長・外科部長
前田 裕巳



この度、4月1日付けで、神戸労災病院副院長の職を拝命いたしました。地域の先生方には、これまでも過分なご厚情にあずかり、心より御礼申し上げます。今後もより一層地域医療に貢献すべく邁進いたしますので、引き続き変わらぬご愛顧の程、お願い申し上げます。

さて、この場を借りて、当科の近況をお知らせしますので、ご一読いただけましたら幸いです。

～高齢化社会における外科手術～

社会の高齢化に伴い、当院でも多くの高齢者が受診されます。2019年の日本人の平均寿命は男性81.41歳、女性87.45歳でした。平均寿命の延伸は喜ばしいことですが、「健康寿命」は男性72.14歳、女性74.19歳と、残念ながら最後の10年間は病気を抱えながら老後を過ごされているのが現状です。

昨年当科で手術した方の年齢構成は、40歳未満31人、40歳台18人、50歳台42人、60歳台68人に対し、70歳台112人、80歳台80人、90歳台22人と、70歳超の高齢者が57%を占め、90歳以上の超高齢者も最早稀ではありません。緊急手術となると、70歳超の高齢者割合は若干減りますが、77人中34人(44%)、90歳以上も8人(10%)に上ります。

高齢者の手術では、併存疾患の周術期コントロールが不可欠です。手術も標準手術が良いとは限らず、術後管理も、せん妄、フレイル、嚥下障害、肺炎等の高齢者独特の病態対策も必要です。そのような中、重要と考えられる術前準備について、当院の取り組みの一端をご紹介します。

まずは患者さんやご家族とのコミュニケーションが重要です。手術希望の場合、術後どのような生活様式が予想されるか十分に話し合い、適切な治療法を選択するよう心掛けています。

次に、糖尿病、高血圧、心不全、腎不全、肥満、低栄養、便秘など併存疾患の評価、コントロール状況を確認しながら手術時期、術式を決定します。

高齢の方は手術を機にフレイルに陥る危険性も高く、栄養評価・栄養指導や、フレイル予防体操、呼吸訓練等を取り入れ、より良い状態で手術に臨めるよう心掛けています。

さらに、悪性腫瘍手術、心血管手術、人工股関節関節置換等全身麻酔手術に限らず、広く手術を受けられる方に、術前の口腔ケア、スキンケアを行っています。

当院は幸い、循環器、皮膚科、整形、リハの充実に加え、フレイル外来、地域包括ケア病棟もあり、昨今、重点強化している入退院支援室がきめ細やかな対応を行っています。

しかし、準備が不十分な緊急手術では予後が厳しい場合もあり、危険性を十分に説明した上で、ご希望により手術を行うこともあります。普段、患者さんやご家族と関わる地域の先生方にAdvanced Care Planningの考え方を取り入れて頂き、積極的治療を希望される方には、フレイル予防等全身管理を充実させ、ケアマネ、訪問看護、ヘルパー等と協働することで、より安全な高齢者手術が可能になると考えます。

今後、医療だけでなく介護系機関との連携も充実させ、高齢化する地域医療の円滑化に貢献したいと考えますので、引き続き、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

● 医療従事者向けオンライン研修会を開催しました！！

一昨年より続くコロナ禍により、それまでは当たり前に行っていたことも、その在り方を問われ、見直しを余儀なくされています。集合形式の対面研修もその一つで、三密を避けるため、各施設でも規模の縮小や書面開催、オンライン・リモート開催等様々な取り組みを模索されていることと存じます。

当院も去る3月31日、以下の内容でZOOMを活用したオンライン研修を初開催し、院内外合わせて約30名の方々にご視聴いただきました。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| ① 心臓C Tの有用性 | 循環器内科部長 木全 玲 |
| ② フレイル外来紹介 | 循環器内科副部長 武田 匡史 |
| ③ 当院循環器内科 Up to Date | 副院長・循環器内科部長 井上 信孝 |

スタッフも、外部のオンライン研修に参加する機会はこれまでもありましたが、ホスト側は初めてで、冒頭数分音声流れなかった、演者・発言者の切り替えに手間取った、スタッフが頻回に映り込んだ、その他課題が多く残る会でした。

今後も隔月程度で、当院からの情報発信、地域の医療従事者向け研修、会わなくても顔の見える連携、ICT化の促進等様々な目的の達成に向け、オンライン研修を開催し、同時にホスト側の精度・練度も向上を図って参ります。

本誌をご覧の皆様も、「神戸労災のこういう部分が知りたい」、「こういった勉強会をお願いしたい」、「自分も講師として参加したい」等ございましたら、以下担当者まで、お気軽にご相談ください。

今回は5月27日（木）17時から、呼吸器特集として、呼吸器外科仲田部長、呼吸器内科石井医師が事前に質問を募集し、Q&A形式で行います。当院のメール会員にご登録いただいている医療機関等に案内を配信しておりますが、案内送付希望等ございましたら、そちらも下記担当者まで、お気軽にご連絡ください。

神戸労災病院 医療従事者向けオンライン研修

Meet The Rosai

zoom 呼吸器 特集

2021年5月27日（木）17時から（45分程度）

17:00～ 呼吸器疾患 Q&A
皆様のさまざまなご質問にお答えします

呼吸器外科部長 : 仲田 庄志
呼吸器内科 : 石井 達也

◎地域医療推進室アドレスまで！

疑問・相談等多数お寄せください！！（5月18日（切））

例）この病気、当日紹介か、翌日以降でも構わないか？見極めのポイント
・高齢者で肺がんらしい陰影が見つかったが、何歳まで手術できる？
・睡眠時無呼吸症候群の検査入院ってどんなもの？
・HOT導入はどんな条件を満たせばいいの？ など

神戸労災病院 副院長・井上 信孝

17:30～ 呼吸器科 Up to Date

視聴をご希望の方は右のQRコードを読み取るかZOOMアプリにて以下のミーティングID、パスコードを入力ください。

ミーティングID : 933 2122 8785
パスコード : 069007

URL : <https://zoom.us/j/93321228785?pwd=NWBBb1NlL1FCaDZlZWVhbnRmNEQ1OQ>
メールでの転送をご希望の方は、地域医療推進室までメールアドレスをご連絡ください。
(地域医療推進室アドレス) chiiki@kobeh.johas.go.jp

Japan Organization of Occupational Health and Safety Kobe Rosai Hospital



モニタの向こうはこんな感じでした!! 散らかってます

(担当者)
神戸労災病院 地域医療推進室 連携係長 中村
TEL : 078-231-5925 (連携室ダイレクトイン)
FAX : 078-231-5926 (連携室内)
e-mail : chiiki@kobeh.johas.go.jp

お知らせ

● 医師の人事異動について

令和3年3月31日付け（退職）

心臓血管外科副部長：佐藤 雅信	皮膚科：中村 維文	糖尿病・内分泌内科：高田 絵美
総合内科：申 輝樹	放射線科：三田 裕樹	消化器内科：山本 貴央
消化器内科：井元 裕子	外科：島田 淳司	循環器内科：若榮 智之
循環器内科：白木 宏明	整形外科：小原 彬寛	初期臨床研修医：山下 浩司
整形外科：神村 真人	整形外科：三谷 和慶	初期臨床研修医：小林 潤一
整形外科：十倉 健男	整形外科：葛原 慎	初期臨床研修医：宮本 聡志

令和3年4月1日付け（採用）

心臓血管外科部長：深瀬 圭吾	整形外科：中川 大輔	初期臨床研修医：宇田 早希
放射線科部長：橋本 知久	総合内科：廣田 功平	初期臨床研修医：伊賀 智人
消化器内科副部長：喜田 栄作	消化器内科：荒尾 悠介	初期臨床研修医：小林 裕
整形外科副部長：寺嶋 良樹	呼吸器内科：村田 祐一	初期臨床研修医：橋本 沙和
糖尿病・内分泌内科副部長：西海 智子	呼吸器内科：石黒 豊	初期臨床研修医：花房 倫和
総合内科：井上 聖也	整形外科：古屋 誠彦	初期臨床研修医：宮崎 隼人
消化器内科：西原 圭一郎	整形外科：高見 俊治	初期臨床研修医：小川 恵
外科：白神 直人	皮膚科：晴木 健人	初期臨床研修医：高 亜羅
整形外科：長田 尚介	麻酔科：久世 弥生	

令和3年4月1日付け（昇進）

院長：脇田 昇	循環器内科部長：武田 匡史	整形外科副部長：丸野 文雅
副院長：前田 裕巳	総合内科副部長：吉岡 隆之	麻酔科副部長：木田 健太郎

令和3年4月30日付け（退職）

消化器内科：福山 俊彦



お願い

ご予約の連絡をいただいた当日中に、診療情報（紹介状）と患者保険情報のコピーを地域医療推進室宛てにFAXしていただきますようお願いいたします。



神戸労災病院 地域医療推進室

TEL：078-231-5925

FAX：078-231-5926

開室時間 平日 8：15～19：00 土曜 8：30～12：30
（17時以降および土曜は診療・検査予約のみ）

▶診療情報提供書等ご送付いただく際は、封筒に「診療情報提供書在中」とご明記ください。